

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 成人保健の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	がん予防対策事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	がん検診受診率		#N/A	
事業目標	10%増	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 がん予防・検診受診等に対する住民意識の向上	関係例規・法令名	2 がん対策基本法	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	がん検診の実施、禁煙・食生活の工夫などがん予防に係る知識の普及などによりがんによる健康障害の発生、壮年期のがん死亡を減少する。	胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の普及	胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の普及 ・女性特有のがん検診推進事業の実施(個別検診の実施、検診手帳・無料クーポン券の配布)	胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の普及 ・女性特有のがん検診推進事業の実施(個別検診の実施、検診手帳・無料クーポン券の配布)	胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の普及 ・がん検診推進事業の実施(特定年齢の方を対象として乳・子宮・大腸がん検診にかかる検診手帳、無料クーポン券の配布)	胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診の実施 ・がん予防等に関する知識の普及 ・がん検診推進事業の実施(特定年齢の方を対象として乳・子宮・大腸がん検診にかかる検診手帳、無料クーポン券の配布)	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	14,604	2,000	3,042	2,690	3,372	3,500
財 源 内 訳	国庫支出金	2,154		1,022	258	381	493
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	3,128	586	586	623	640	693
	一般財源	9,322	1,414	1,434	1,809	2,351	2,314
実 績 事 業 費	事業費(千円)	14,433	2,551	3,115	2,965	3,122	2,680
財 源 内 訳	国庫支出金	1,878		707	299	456	416
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	3,169	753	716	612	599	489
	一般財源	9,386	1,798	1,692	2,054	2,067	1,775
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ・受診者個人負担金 ・女性特有のがん健診推進事業国庫補助金	【評価・実績】	(実施内容等) 胃・肺・大腸・前立腺がん検診 集団検診4回受診者数延500名 個別検診受診者数 延137名 乳・子宮がん検診 集団検診1回受診者数延176名 平均受診率 6.6% ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) 胃・肺・大腸・前立腺がん検診 受診者数延集団 502名 個別 118名 乳・子宮がん検診 受診者数延集団163名・個別24名 平均受診率 7.9% ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 胃・肺・大腸・前立腺がん検診 受診者数延集団497名 個別 93名 乳・子宮がん検診 受診者数延149名・個別31名 平均受診率 8.5% ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 胃・肺・大腸・前立腺がん検診 受診者数延集団 434名 個別 144名 乳・子宮がん検診 受診者数延集団168名・個別44名 平均受診率 8.7% ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 胃・肺・大腸・前立腺がん検診 受診者数延 集団 377名 個別 231名 乳・子宮がん検診 受診者数延 125名・個別 30名 平均受診率 8.3% ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	2%増	4%増	6%増	8%増	10%増
		年度達成率	128%	102%	110%	93%	77%
		全体達成率	17%	39%	59%	80%	99%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆

事業名	がん予防対策事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	がん検診受診率の向上								
【抱える課題やニーズは】	がんは死因の第1位を占めており、特に壮年層における健康障害の発生、生活への影響が大きい	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	がんの予防及び早期発見により健康障害の重度化、生活への影響を軽減することができる	① がん検診受診率(前年度対比)	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8.7%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>95.4%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	8.7%	実績値	8.3%	達成度	95.4%
目標年度	平成24年度										
目標値	8.7%										
実績値	8.3%										
達成度	95.4%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民のがんによる健康障害と生活への影響が軽減される	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	各種がん検診の実施	胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診を集団及び個別で実施した。									
	がん検診推進事業の実施	乳・子宮がん及び大腸がん検診受診者の増加を目指して特定の年齢の方に無料クーポン券及び検診手帳を送付した。									
	がんの予防・検診等に関する広報	検診受診者や町ホームページを利用してがん検診及びがん予防に関する情報提供を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	前立腺がん検診以外は健康増進法により実施が義務付けされている。がん検診は対象年齢にあるすべての町民が対象であり、多くの職域健診ではがん検診の受診機会は少ない現状であり今後も事業の必要性が高いと考える。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	受診率はやや減少したが検診料の無料クーポン券の効果で初回の検診受診者は増加した。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	特定健診等他の検診と同時に実施することにより事業費や作業を軽減し、効率的に実施することができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

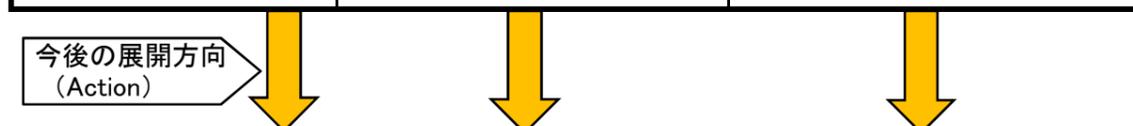
公平	判断の理由	検診受診者には受益者負担を求めている。また、町民に広く検診実施を周知することで公平性の確保につとめた。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
受診率は前年を下回り目標達成には至らなかったが、無料クーポン券の交付等により初回受診者が増加し、今後の継続受診が期待できるものとする。		



継続/現状維持		
目標をほぼ達成したが受診率は低率であり、今後も受診率の向上やがん予防にかかる意識・知識の普及とともに、がん発症予防に関する取組を進める必要がある。		

※展開方向の区分  
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 ○終了 ○休止 ○廃止